

第3回国有林モニターアンケートの結果

国有林モニターの皆様には、毎月、広報誌やパンフレットなどの資料をお送りして、森林・林業、国有林野事業について、情報を発信しているところです。

今回の国有林モニターの皆様へのアンケートでは、森林・林業施策や課題等について、幅広いご意見を伺いました。

いただいた貴重なご意見を今後の業務に活かしてまいります。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

○アンケート実施概要

実施期間：平成29年6月28日～7月25日

依頼者数：70名

回答者数：50名

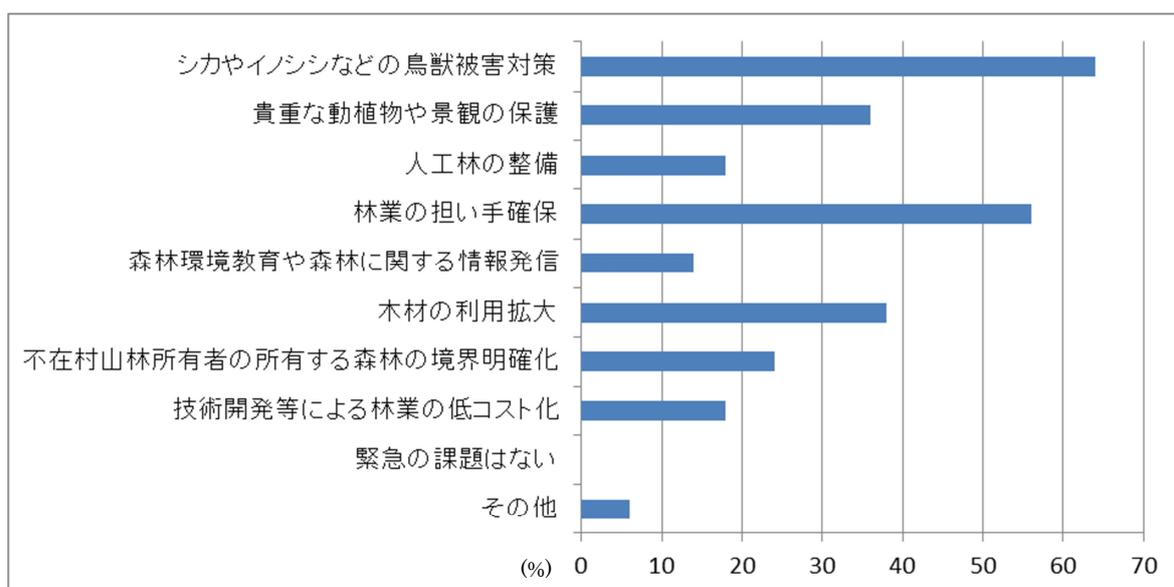
回収率：71%

問1 森林・林業を取り巻く課題はたくさんありますが、早急に取り組む必要があるとお考えのものをお選びください。（最大3つまで）

<回答結果>

「シカやイノシシなどの鳥獣被害対策」との回答の割合が最も高く（64%）になりました。

次いで「林業の担い手確保」（56%）、「木材の利用拡大」（38%）、「貴重な動植物や景観の保護」（36%）となりました。



○その他のご意見

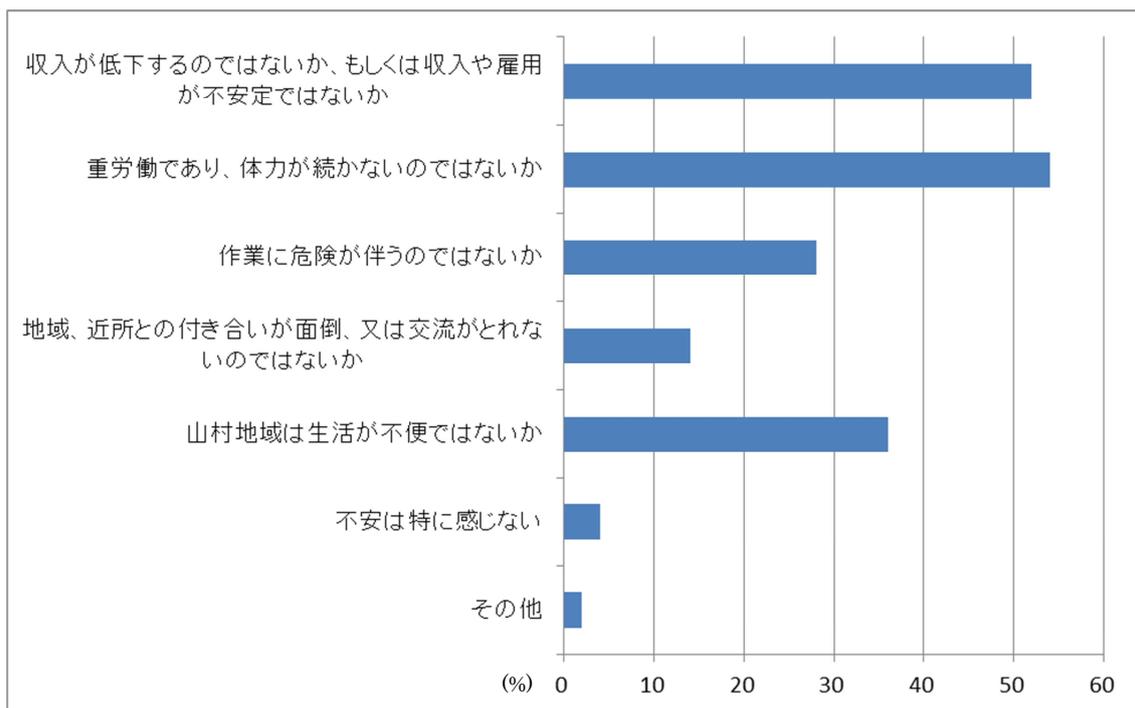
- ・花粉を出さない木を増やしていく（植え替え）
- ・スギ花粉症対策
- ・森林に住んでいる方、林業に携わっている方に尋ねられたらよいと思う。

問2 もし、ご自身またはご家族が中山間地域に住み、林業に従事することとなった際に不安に感じることや周りの支援が必要と考えるものをお選びください。（最大2つまで）

<回答結果>

「重労働であり、体力が続かないのではないか」との回答の割合が最も高く（54%）なりました。次いで「収入が低下するのではないか、もしくは収入や雇用が不安定ではないか」（52%）、「山村地域は生活が不便ではないか」（36%）となりました。

一方で、「不安は特に感じない」という方も2名いらっしゃいました。



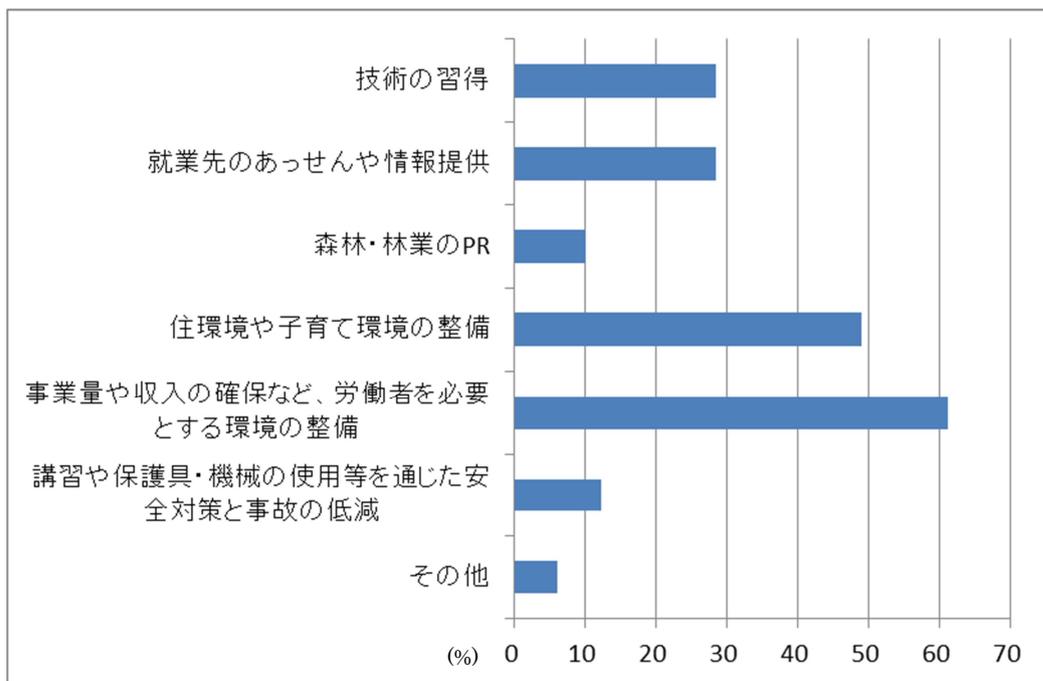
○その他のご意見

- ・子育てに支障はないか。お友達が住んでいなかったり。

問3 林業従事者の増加に向けて、行政の支援が必要と考えるものをお選びください。
(最大2つまで)

<回答結果>

「事業量や収入の確保など、労働者を必要とする環境の整備」との回答の割合が最も高く(61%)、次いで「住環境や子育て環境の整備」(49%)となりました。



○その他のご意見

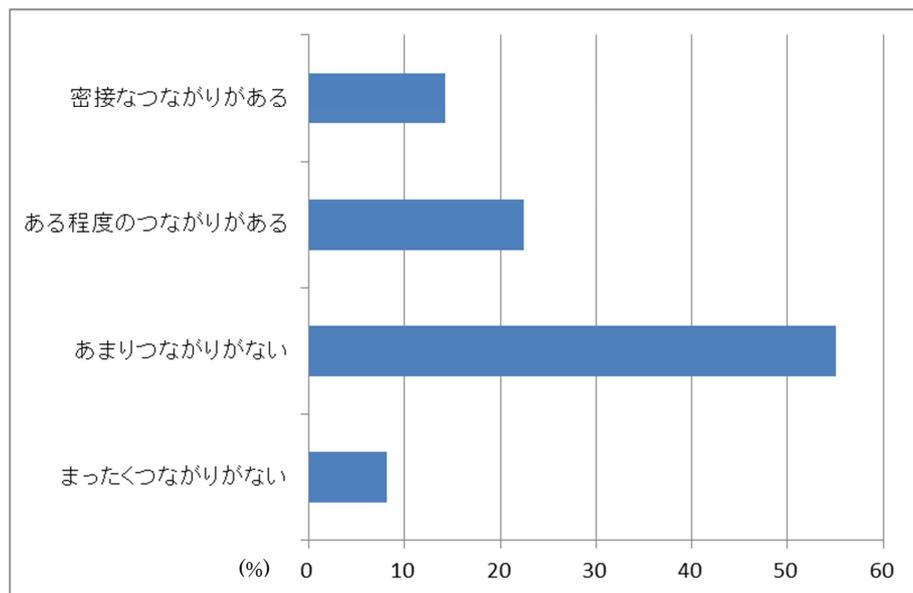
- ・ 林業技術のみでなく、山村生活の技術
- ・ 林業を離職した方に尋ねたらよい。
- ・ 販路拡大

問4 ご自身の普段の暮らしと、国有林との関係について、どのように感じておられますか。最も当てはまるものをお選びください。また、そう感じられる理由について、ご自由にお書きください。

<回答結果>

「あまりつながりがない」との回答が55%と最も高く、次いで「ある程度つながりがある」(22%)、「密接なつながりがある。」(14%)となりました。

どの選択肢についても、そう感じる理由は、お住まい等の立地条件による理由(国有林が近くにあるためつながりを感じる、近くにないためつながりを感じない等)が多くなりました。



○主な理由やご意見等

(密接なつながりがあると回答された方)

- ・私の近くには国有林がたくさんあるのでとても身近に感じています。
- ・現在スギ花粉症の治療をしており、スギ、ヒノキ等の人工林の今後に注目している。
- ・以前モニター通信で送付された地図を利用して、旅行等で山を通る時、国有林か調べたりしている。

(ある程度つながりがあると回答された方)

- ・防災林としての機能をもつこと、そして景観的意義もあると思う。生活の中でかかわりが深いと感じる。
- ・家の裏が国有林で、水田の水はそこから来ている。
- ・国有林は環境や水源の問題など、私達の生活と密着していて、もしなくなってしまうたら大きな問題になると思います。

(あまりつながりがないと回答された方)

- ・国立公園等を除き、国有林も民有林も立入禁止的な所が多く、隔絶されたエリアのような気がしている。
- ・国有林での整備活動等、一般的に活動情報を知る機会が乏しい。
- ・居住地の近くに国有林がない。水源地周辺は国有林の育つ地と知っても現実味が薄い。
- ・今、現在は国有林モニターとして資料を読んで多少つながりを感じていますが、それ以外の場面で「国有林」という単語を見聞きしないように思うので。
- ・関わりは必ずあると思うが、身近に感じられずピンとこない。
- ・住宅街に日頃居住していると、山林について感じることはほとんどありません。

- ・近くに森林管理署があるなど、町の三方を山に囲まれているところに住んでいるが、どこが国有林なのかわからない。

(まったくつながりがないと回答された方)

- ・近くに森林が無いから。
- ・今までどのような仕組みがあるのか詳しい情報を知ることがなかったため。

問5 問4で「あまりつながりがない」または、「まったくつながりがない」と答えた方にお聞きします。つながりを感じられるようにするには、どのような取組が必要だと考えますか。ご自由にお書きください。

<回答結果>

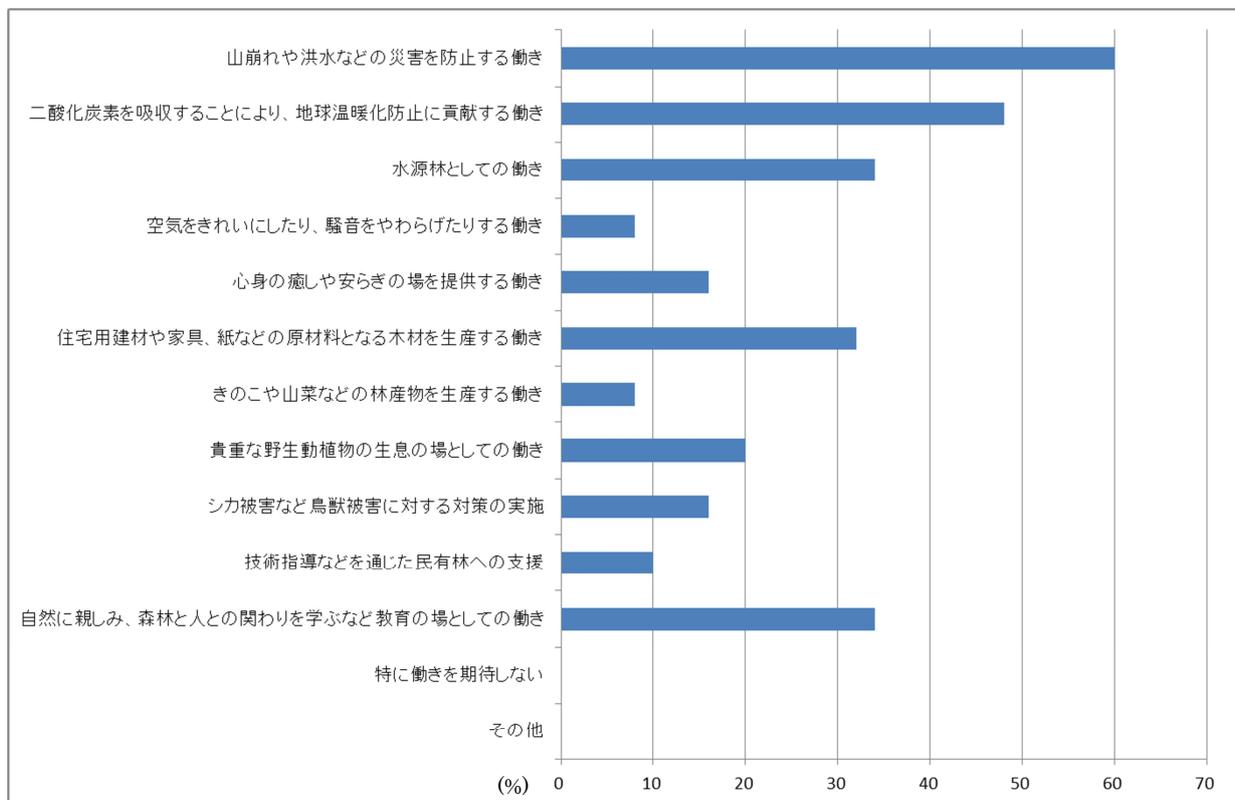
- ・国有林で育った木々の木材を使ったグッズ等の販売。
- ・自然を楽しむため、国有林の一部を整備し、より多くを立入可能に。
- ・もっと国有林にふれあいのある取組（イベント）をする。するにしても平日はダメ。若い人を対象にするならば土日に公共の場ですべきだ。
- ・地域の国有林を紹介してほしい。各県において大まかなブロックに分けて国有林がどういう状況にあるか等の記事を広報に掲載してほしい。自分の住む地域の国有林の記事なら興味をもって読めると思う。
- ・「国有林」という単語をよく耳にするようにする。白神山地や屋久島などの世界遺産のほとんどが国有林であることは、もっとアピールしてよいと思います。テレビで紹介しても国有林って聞かないような。すごくもったいないと思います。
- ・市の広報誌、回覧板などに国有林での活動内容を紹介し、多くの人の目に触れる機会を増やす。
- ・国有林内での活動（植林、伐採、観察会等々）や国有林がどのように私達の暮らしに関わっているかを、リアル体験として感じた経験がないとつながりを感じにくいのではないかな。

問6 国有林に今後、どのような働きを果たすことを期待しますか。

特に当てはまると思われるものをお選びください。（最大3つまで）

<回答結果>

「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」との回答の割合が最も高く（60%）、次いで「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き」（48%）、「水源林としての働き」（34%）、「自然に親しみ、森林と人との関わりを学ぶなど教育の場としての働き」（34%）、「住宅用建材や家具、紙などの原材料となる木材を生産する働き」（32%）となりました。



問7 もし、あなたが林野庁・国有林事業の職員となった場合、やってみたいこと・取り組んでみたいことをご自由にお書きください。（実現性は問いません。）

<回答結果>

- ・ ホームページをリニューアル。メルマガを発行してクイズでプレゼントをする。景品は木材を使用した日用品。
- ・ 国有林近くの住民とともに国有林を育てる環境をつくる。例えば住民に国有林そのものを貸与する。常に国有林の必要性を実感させるためにも、当地で事業を恒常的に展開する。
- ・ 若い人達に山の仕事も悪くないと宣伝したい。
- ・ 水源地確保のためにいくつかの民有林を買い取る。少し前に外国人による民有林の買い取りニュースを目にしたが、このような状況は将来的に好ましくないと感じたので。
- ・ 都心（例えば銀座）にアンテナショップを開き、半分は販売、半分は情報の場とする。
〈販売〉①国産材使用の内装でレストランを作り、シカ等のジビエ料理を提供。
②ウッドデザイン賞等の物品を販売する。
③木造物建設希望者に材木購入を仲介する。
〈情報の場〉
①子供達が社会科見学や自由研究に使えるような学習の場を作る。
②災害、下刈り時の人材募集や仕事紹介をする。
③「関東の森林から」、「林野」等の資料を常置する。（モニターでなければ手に入らないのは残念です。）
- ・ このたびの九州豪雨を最初に映像で見たとき、土砂もろとも流れ出した大量の流木に一瞬我が目を疑った。この流木が救援、捜索、災害復旧の妨げになると思われたからである。九州豪雨、近年の台風被害は一例に過ぎず、全国の中山間地でも今後同様の被害が発生する恐れがあると思われる。間伐材が切り倒されたまま放置されていたのでしょうか。または倒木や枯れ木が要因なののでしょうか。この豪雨を教訓として、早急に森林整備の対策を講じてみたい。
- ・ きのこと山菜などの料理教室。
- ・ 民間資本を導入し、林業等の事業を発展させたい。例えば、広く株券様の債権を発行し、資金を調達し、バイオ太陽光、風力等再生可能エネルギー等の事業を立ち上げると共に、権利者に安価な木材（国等の支援を得る）を提供する等、権利者に有益感を与えることにより拡大を図る。更にはドローン等を利用し、杉、桧等の種子をまくなど労力軽減に努める。